

同情 「思いやり」と同じ手まね。

当选 「選挙——勝つ。」

当然 「きまり」と同じ手まね。

同窓 掌を前向けて、五指の指頭を集め合  
わせた両手を左右にびったりと並らべてか  
ら、左右に離し次に両手を平行に下へ降す。

「同」の字の「冂」の形を描いたもの。「同  
窓会」はそれに「会」の手まねをつけ加える  
銅像 銅—造る—人の像（両手で空間に人  
体の輪郭を描く）

盜賊 盜む—賊。

燈台 「照らす」の手まねをしてその手を  
前方から左へ右へと動かす、四方に照らすこ  
と。

盜難 「盜む」の受身、即ち盜まれた（人  
差指をかぎ形に曲げたのを自分の体に向け前  
方へ引き出す）

同輩 同僚 「味方」と同じ手まね。

當番 「責任」と同じ手まね。

豆腐 「白」の手まねをして、掌を上向け  
た左手の上に、右手（五指の指頭を前方にさ  
し掌を左側にした）を鉤丁として豆腐屋が豆  
腐を縦に横に切る身振。

動物 獸—鳥—虫いろいろ。

逃亡 「脱走」と同じ手まね。

透明 五指の指頭を上にして掌を内側に  
した左手を（透明体）前にして、掌を下に向  
け人差指と中指の指頭を前方にさした右手を  
眼もとにつけて（視線）から、左手に向って  
その指の間に右手の二指を突き通うらせる。

同盟 「連盟」と同じ手まね。

統領 統べる—主（男性を表わした親指  
を少し上にさじ上げる）

時 時の流れ 時間時代の経過 右手（手  
甲を上向けた）の指頭前方直角にした人差指  
を右から左へ空間に線を描いて移行させる。

過去は右、未來は左と心得えて時間の動きを表現するもの。

時時 「時間の流れを」表わす手まねをし  
て（即ち掌を下に向け指頭を前方にさした右手人差指を右から左へ線を描いて行く）その途中人差指の指頭をくるっと上にさし（その掌は内側を向く）またその指をもとに戻して左へ移行してはまた指頭を上になさして、これを二三度繰り返して行く。

解く 研究―考える―解る。

徳 人々―幸せ―与える―いろいろ―よい行い。

得する 「儲ける」と同じ手まね。

毒 五指を集め合わせたその指頭を鼻さきにもって行く。

匂いをかぐ。

得意 (1) 得意顔。「自慢」の手まね。(2)

〇〇が得意「上手」の手まね。

読書 本―見る。「本」を表わした両手

のうち左手をそのままその位置に残して置いて、掌を下向け指頭を前方にさした人差指と中指の右手を眼もとにつけて（これを視線として）二指の指頭を左手に向け、指頭を上下に動かす。視線が上から下へ、下から下へと本の文章の行を追うこと。

独身 結婚―まだ―独り。

特別 特に 掌を下に向け五指の指頭を集め合わせた右手を掌を下に向けた左手の手首の上辺りから腕にかけて人形を描く。明治時代の兵隊の特務曹長の袖につけた章しるしから来たもの

独立 (1) 親から独立。自分（独り）―食う―生活。(2) 独立国家。自身（独り）―政治―国。

時計 右手の親指と人差指、その親指の方を左手に握らせて（左手の親指と人差指の間